

第 63 回日本糖尿病学会年次学術集会会長候補  
所信

戸邊 一之

富山大学大学院医学薬学研究部（医学）

内科学第一講座

超高齢化社会を迎えた日本では、糖尿病患者は血管合併症に加えて、悪性腫瘍やフレイル・認知症などの問題を抱え、糖尿病学のカバーする範囲は拡大しています。わが国の糖尿病学は、学問の垣根を越えて様々な分野の進歩を取り入れて発展してきました。糖尿病患者の抱える問題の多様化に対応するため、チーム医療に参加するメディカルスタッフの職種も増えております。私は、糖尿病の発症機序の理解に向けたインスリンシグナルや脂肪細胞の基礎研究とともに、臨床面では C ペプチドインデックスを提案し最適な治療選択を行うための指標の開発に取り組んで参りました。そして、日々の診療の場での小さな気付きの積み重ねの重要性を痛感して参りました。糖尿病診療・リサーチの現場から、これからの糖尿病学の課題とは何かを考え、『日々の診療の気付きから糖尿病学の新しい分野を切り拓く』場を提供できればと考えています。

諸先生方の温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。